

## 警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

### 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、電源コ - ドまたはACパワーアダプター - が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にお持ちになる際は、必ずコ - ドレスマイクロホンと赤外光レシーバ - 、充電器と一緒に持ちください。

### 万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグ、ACパワーアダプター - をコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

### 警告表示の意味

取扱説明書及び製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

行為を禁止する記号



### 電池についての安全上のご注意

この機器はニッケル水素充電電池を使用します。漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。



- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやペーパーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。



下記の注意を守らないと、**火災・感電により大けがの原因**となります。

### 内部に水や異物を入れない

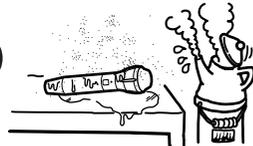
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターや充電器をコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へご相談ください。



指定以外の充電器やACパワーアダプターを使わない  
破裂・液もれや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

### 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災などの原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



### 通電中のACパワーアダプターや充電器、充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

### 本体やACパワーアダプター、充電器を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



### 内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



### 安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



禁止



### 幼児の手の届かない場所に置く

けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止



## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

SONY

3-858-931-01(2)

## コードレスマイクロホン

### 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

## IFM-V10R1/V10R2

Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

## 主な仕様

変調方式	周波数変調
搬送周波数	MIC1 3.7MHz MIC2 3.2MHz
到達範囲	約25m <sup>2</sup>
音声信号出力レベル	-55dB ±3dB (0dB=1V/Pa, 1kHz)
周波数特性	80 ~ 15,000Hz
電源	DC2.4V ニッケル水素充電電池 (内蔵)
連続使用時間	約11時間
最大外形寸法	約52 × 255mm (直径 × 長さ)
質量	約370g
付属品	保証書 (1) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はコードレスマイクロホンシステムIFM-V10RK専用のマイクロホンです。IFM-V10RKの取扱説明書もあわせてご覧ください。

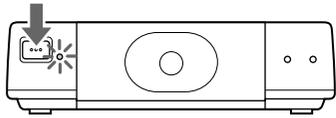
IFM-V10R1:「マイク1\*」と同じです。  
IFM-V10R2:「マイク2\*」と同じです。

\*コードレスマイクロホンシステムIFM-V10RKに付属です。

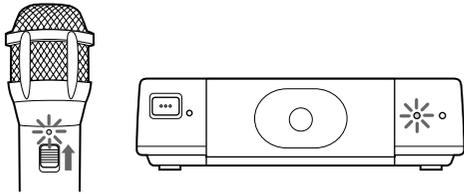
## 使う

初めてお使いになるときは、使用前に必ず充電してください。初めての充電では使用可能時間が短いことがあります。故障ではありません。本機に内蔵の充電電池は、充電および放電を2、3回くりかえすと、本来の特性が得られるようになります。

- 1 別売りコードレスマイクロホンシステム IFM-V10RKの充電器で本機を充電する。
- 2 接続したカラオケ用AV機器の電源を入れる。
- 3 赤外光レシーバーの電源を入れる。POWER(電源)ランプが点灯します。



- 4 本機のPOWER(電源)スイッチをONにする。本機のPOWER(電源)ランプが点灯してから、赤外光レシーバーのOPERATION(動作)ランプが点灯します。



### ご注意

- お使いにならないときは、POWER(電源)スイッチをOFFにしてください。
- 電池が消耗してくると、POWER(電源)ランプが暗くなり雑音が多くなってきます。このようなときは充電してください。
- 内蔵のニッケル水素充電電池の寿命は約1年、500回の充電が目安ですが、使用条件により大きく変わることがあります。寿命になると使用時間が極端に短くなります。この場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 充電端子が汚れていると、正常に充電されない場合があります。充電端子が汚れた場合には、乾いた柔らかい布でよくふいてからお使いください。

## 使用上のご注意

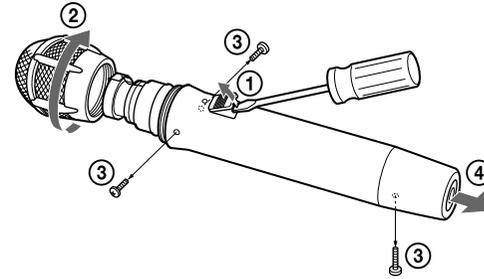
取り扱いについて  
落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。

次のような場所では使わないでください

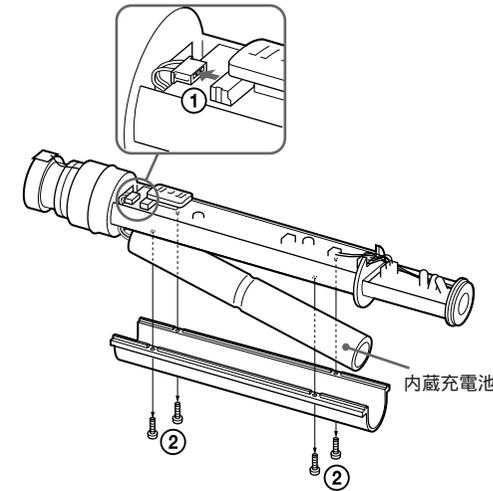
- 屋外(直射日光下)
- 太陽光やスポットライトなどの強い光が当たる場所(スポットライトを消したり、窓のカーテンやブラインドを閉めるとよい場合があります。)
- ほこりの多いところ。
- ぐらついた台の上や傾いたところ。
- 振動の多いところ。
- 直射日光があたりところや暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ(なるべく5 ~ 35 の範囲でご使用ください。)
- 風呂場など、湿気の多いところ

本機を廃棄するときは  
環境保護のため、下記の方法で内蔵充電電池を取りはずし、適宜処理してください。

- 1 本体を分解する。
  - ① ドライバーの先などでスイッチつまみをはずす。
  - ② 頭部を強くねじってはまず。
  - ③ 3箇所ビスをはずす。
  - ④ グリップをはずす。



- 2 内蔵充電電池をはずす。
  - ① コードをひっぱり、ソケットをはずす。
  - ② 4箇所ビスをはずす。



## 故障とお考えになる前に

音が出ない  
→ 本機および赤外光レシーバーの電源を入れる。  
→ 充電する。

スピーカーから「ピーツ」と音がする。  
→ 本機とスピーカーを離すか向きを変えて使う。  
→ 接続した機器の音量を下げる。

雑音が多い、音がひずむ  
→ 充電する。  
→ 赤外光発光部を手などでおおわない。  
→ 赤外光発光部の汚れをふき取る。

## 各部のなまえ

